

だんだん夏の陽気が日々感じられるようになってきましたね。夏になると、なんとなく海の青さが強くなっていくような気がします。例年室戸の夏はたくさんの訪問客でにぎわいますが、今年はどんな夏になるでしょう。

和歌山県・南紀熊野ジオパークでガイド研修に参加しました

2020年1月末に、和歌山県南紀熊野ジオパーク（左地図の黄色いエリア）で、中四国近畿エリアにあるジオパーク地域の職員やガイドが集まって、ジオパークの運営のこと、ガイドの手法のことなどを勉強する研修会がありました。そこに2019年にガイドデビューしたばかりの歯朶尾己知子（シダオミチコ）さんが参加しました。南紀白浜やパンダがいることで有名な場所ですが、ジオパークとしてはどういうエリアなのか知っていますか？室戸との共通点も結構あるんです。今回は歯朶尾さんの報告から、南紀熊野ジオパークについてみてみましょう。



【地図：南紀熊野ジオパーク推進協議会】

今回の南紀熊野ジオパークでの研修には、室戸からガイド2名と専門員1名が参加しました。紀伊半島の南端潮岬に2019年夏に完成したジオパークセンターがあり、そこが今回の研修会場でした。研修は1月23日から24日に開催され、わたしたちを含めて全国11のジオパーク地域から、合計43名の方が参加していました。

初日午前中は南紀熊野ジオパークの基本情報を学びました。そこは2014年に日本ジオパークに認定された地域です。2019年夏に完成したばかりの、紀伊半島の南端潮岬にあるジオパークセンターが研修会場でした。紀伊半島では1400万年前に、九州の阿蘇よりもはるかに大規模なカルデラ噴火が起こったそうです。それによって生まれた奇岩、巨石、景観が南紀熊野にはあります。そこから地域の信仰文化も生まれていく、というストーリーについて学びました。地理的には室戸も南紀熊野も、南の端っこにあります。付加体でできた大地であることや、観察できる動植物、備長炭の生産など似通っている部分があることも知りました。

午後からは研修開始です。1) 各地域でのガイド活動に関する情報・意見交換、2) グループに分かれワークショップ、3) まとめを発表し共有、というプログラムでした（写真左下）。その後懇親会場へ移動し、食べて飲んで、他のジオパークの方々との交流を楽しみました。

2日目はジオツアーへ。南紀熊野ジオパークは広く（10市町村で構成）、見所もたくさんあります。今回は観光スポットが多い海岸沿いではなく、少し内陸の古座川周辺の奇形・奇岩（写真右下）を案内していただき、雄大な自然を堪能できました。

2日にわたるこの研修で、一番印象に残ったのは「楽しんで！！」ということ。「ジオ？地形？何？」というように、難しく考えがちのところも、よりわかりやすく学び、伝えることが大切です。そんなガイドができるように頑張りたいと思います。研修の最後、解散前に南紀熊野ジオパークの方が歌ってくださった自作自演(?)のジオの歌「ジオ♪ジオ、ジオ」が耳に残ったまま帰路につきました。（歯朶尾己知子）



③古座川の一枚岩



①ワークショップの様子



②集合写真

室戸ジオパークの YouTube チャンネル、息を吹き返しています



実は 2011 年頃にはすでにあっただ、室戸ジオパークの YouTube チャンネル。最近息を吹き返しています。ありがたいことに、映像や写真についての知識とセンスがある職員が室戸ジオパークにはいます。そんな彼が取材・編集している映像が YouTube に 4 月中旬以降順次アップされています(写真左上)。テーマは「新型コロナと向き合う室戸の声」。農家さん、漁師さん、個人で商売をしている人などなどを取材して、仕事内容を聞いたり、新型コロナウイルス発生以降の生活の変化、対策についても話してもらっています。知っているあの人も出ているかも。順次英語字幕もつけているので、海外のご友人にもどんどんシェアしてください。

さらにもう 1 つ。4 月 22 日は「アースデー」、地球の日でした。その日をきっかけに、わたしたちの身近な自然環境についてちょっと思いを馳せてみようというメッセージを込めて、動画を作りました(写真右上)。これはすこし荒削りな編集ですが(映像作成に不慣れな職員が作っています)、協力していただいた方たちのメッセージはきちんと伝わっていると思います。「グッドボタン」と「登録」をお願いします。



[【YouTube チャンネルの QR コードはこちら↑↑】](#)

室戸ジオパークだけでなく、日本にあるジオパーク地域で連携した「ふるさと地球の絶景プロジェクト」という取り組みも始まっています。各ジオパークが持っている YouTube チャンネルに、「#ふるさと地球の絶景」というハッシュタグで、各地の自慢したくなるような景観を 10 分程度の長さでアップロードしています。室戸ジオパークも 1 つ動画をアップしています。新型コロナウイルスの影響で「行きたくても行けないあの場所」の風景を、せめて動画で発信しようと始まったプロジェクトです。

西山金時スウィートポテトロール発売開始されました

にっぽんの宝物 JAPAN 大会スイーツ部門でグランプリ日本一を獲得した、西山金時スウィートポテトロールが 5 月 8 日(金)から高知県内で発売されています。室戸ジオパーク推進協議会が開発に協力した商品で、吉良川西山台地で生産されている西山きんときを生地に使用しています。ロールケーキのスポンジは自然な芋の甘さが特徴で、つなぎである小麦粉の分量も極力抑えられているので、優しくなめらかな口当たりです。冷凍しても常温でも、おいしくいただけます。

販売場所については、下記連絡先までお問い合わせください。入荷情報や販売価格などの情報は各販売店舗までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

「室戸ジオパークだより」へのご意見・ご感想、ご質問などなど、どんどんお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。「こんな情報あるよ!」「こんな情報を掲載して」ということも、お待ちしております。

【発行】室戸ジオパーク推進協議会 (0887-22-5161)

Email: info@muroto-geo.jp

〒781-7101 高知県室戸市室戸岬町 1810-2 (担当: 小笠原)

